

日本キャリア・カウンセリング学会第27回大会／大会通信



第27回大会テーマ「カウンセリング再考～支援者としての実践と研究、個と組織～」

第27回大会の開催にあたって

このたび、2022年11月5日（土）・6日（日）に、日本キャリア・カウンセリング学会第27回大会をオンラインにて開催することとなりました。日本産業カウンセリング学会から日本キャリア・カウンセリング学会へと改名し、2度目の大会となります。昨年度はキャリアの多様性やキャリア支援の可能性に注目をしましたが、今年度は改めて「カウンセリング」の可能性に目を向けたいと考えます。カウンセリングとは、支援とは、人の変化・成長とは、支援者としての在り方とは…。そのような思いから「カウンセリング再考～支援者としての実践と研究、個と組織～」というテーマを設定しました。このテーマをスタート地点として、大会を通して皆さまとともに考え、語り合えることを楽しみにしております。実践者と研究者が広く集う当学会ならではの学びと交流の場となることを期待しております。

今大会では「基調講演」、「シンポジウム」4セッション、「クロストーク」1セッション、「研修会」6講座を企画し、多様なテーマで講師・シンポジストの方々をお迎えできることとなりました。個人発表の部では「研究発表」、現場の実践者・実務家の方々にも日々の実践をプレゼンテーション形式でご報告いただく「実践報告」に加え、過去3年以内（2019年3月～2022年3月）に博士号または修士号を取得された方が対象となる「学位(修士・博士)研究発表」を新規に企画いたしました。参加者の皆様からシンポジウム企画を募る「公募シンポジウム」も継続実施いたします。様々な形での対話の場を、ぜひ一緒に作っていただければと考えています。

なお、今年度もオンライン形式ならではの工夫を取り入れています。「基調講演」「シンポジウム」「クロストーク」「研修会」に関しては、参加チケットをご購入いただいた方は大会終了後の一定期間（約1か月を予定）ご視聴いただけるよう、準備を進めています。また、初日の夕方にはオンライン交流会やオンライン研究相談サロンも実施します。参加者の皆さま同士の交流の場として、どうぞご参加ください。

多くの皆さまのご参加を大会実行委員一同、心よりお待ちしております。今後の更なる詳細情報は、第27回大会特設サイト(<http://jacc-conf.info/27th/>)で都度発信いたします。



第27回大会実行委員長 原 恵子(筑波大学)

目次

I:会期	II:大会スケジュール	2p
III:大会参加申込要領(チケット予約)		3p
IV:研究発表・実践報告・学位研究の申込		4p
V:公募シンポジウムの申込		6p
VI:基調講演・大会シンポジウム・クロストークについて		8p
VII:研修会について		15p
VIII:その他プログラムについて		17p
IX:詳細情報・問い合わせ先		17p

I:会期

2022 年 11 月 5 日(土)・6(日) 2 日間 (Zoom を利用したオンライン開催)

II:大会スケジュール

11/5 (土)		
10:00～	オープニングセッション	
10:30～12:00	研修会 ①リアルタイム形式 W1～W4 ②オンデマンド形式 W5～W6	
	昼休憩(45分)	
12:45～13:00	開会式	
13:00～14:30	基調講演 (宮城まり子名誉会長)	
	休憩	
14:45-15:15	表彰式	
15:15-15:35	昨年度学術賞受賞講演	
	休憩	
15:45-17:15	シンポジウムⅠ キャリア関連3学会の連携企画シリーズ2 「希望、正義、物語（ナラティブ）、今、私たちができること」	
	休憩	
17:25-19:00	オンライン交流会	オンライン研究相談サロン

11/6(日)		
10:00～11:30	シンポジウムⅡ 「多職種連携の実践問題、他職種は何を見ている？ 何を気にする？」	クロストーク(オンデマンド形式) 「今改めて問う日本のカウンセリング ー多文化的視点から考えてみた」
	昼休憩(45分)	
12:15-13:45	研究発表・実践報告・学位研究発表 R1～R3 ①12:15-12:45 ②12:45-13:15 ③13:15-13:45	公募シンポジウム S1～S3
	休憩	
14:00-15:30	研究発表・実践報告・学位研究発表 R4～R6 ①14:00-14:30 ②14:30-15:00 ③15:00-15:30	公募シンポジウム S4～S6
	休憩	
15:45-17:15	シンポジウムⅢ 「スーパービジョン再考 ー本学会におけるSV養成訓練の取組と展望」	シンポジウムⅣ 「人的資本経営に活かすキャリア・カウンセリングー健康経営、ダイバーシティ、従業員エンゲージメントの視点から」
	休憩	
17:30-18:00	クロージングセッション・閉会式	

Ⅲ:大会参加申込要領（チケット予約）

1. チケット販売期間

2022 年 7 月 15 日（金）～ 2022 年 11 月 4 日（金）

※ 9/15(木)までは早割期間となります。

※ 大会当日にチケットを購入して参加することはできません。チケット販売期間中にご購入ください。

2. 申込方法

申込は、以下のサイトでのみ対応いたします。電話・FAX・メール等では、お受けいたしかねます。

原則チケットは予約制です。イベント管理サイト [Peatix](https://jacc27th.peatix.com/) の「日本キャリア・カウンセリング学会 第 27 回大会」（<https://jacc27th.peatix.com/>）より、事前にチケットをお買い求めください。

3. 参加費用

参加費用には大会当日の Zoom での参加費用と大会終了後のオンデマンド視聴費用が含まれています。本大会はオンライン開催のため、大会プログラム・論文集共に PDF 形式でのダウンロード配布とさせていただきます。製本された冊子の郵送・配布は致しませんので、予めご了承ください。

区分	早割(～9/15)	参加費用(9/16～)
当学会正会員	6,000 円	7,000 円
当学会賛助会員	7,000 円	8,000 円
非会員	9,000 円	10,000 円
学生	3,000 円	

- 9/15(木)までは早割期間となります。（ただし、学生区分には早割制度はありません）
- 「学生」区分には社会人学生・社会人院生の方も含まれます。
- 以下の団体・企業に所属する社員・会員の方は「当学会賛助会員」としてお申し込みが可能です。

一般財団法人 ACCN 株式会社金子書房 公益財団法人関西カウンセリングセンター
特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会 中央職業能力開発協会
特定非営利活動法人日本キャリア開発協会 株式会社日本マンパワー

（団体・企業名称 50 音順）

Ⅳ:研究発表・実践報告・学位研究発表の申込

今大会では、「キャリアならびにカウンセリング」に関する「研究発表」および「実践報告*」に加えて「学位研究（修士・博士）発表*」を募集します。大会2日目（11月6日）に発表枠をご用意しております。

*実践報告：各種相談業務やキャリア支援などの実践活動について、その内容紹介や結果から得られた成果などを自由に報告できる発表形態です。他の実践者・研究者の方々との情報共有や実践活動を活性化するような報告を広く募集します。

*学位研究（修士・博士）発表：過去3年以内（2019年3月～2022年3月）に博士号または修士号を取得された方が対象です。学位研究の重要箇所や発見的事実をご発表ください。

1. エントリー方法

エントリー・フォームに必要事項をご記入の上、ご提出ください。

⇒ エントリー・フォームはこちら

(<https://forms.gle/aB9DRyq55vMKm9wQ9>)

※登録後、すぐに指定のアドレスへ確認メールが送信されます。

万が一、メールがご確認できない場合は、メールアドレスに注意して再度提出し直すか、大会事務局 (conference-27th@jacc.or.jp) にお問い合わせください。

2. 申込み条件および注意事項

①お申込みには以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- ・申込者が発表・報告の第一著者であること。
 - ・大会当日において本学会正会員（学生会員を含む）であること。
 - ・大会当日において年会費を納入済みであること。
 - ・指定の期日までに大会参加費が支払い済みであること。
- （大会参加費に発表エントリー料が含まれています）
- ・研究・実践の公表に関する規則を遵守していること。

（公表チェックリスト (http://jacc.or.jp/public_documents/guideline/checklist_20210719.pdf) の提出が必須）

②注意事項

- ・発表区分（研究発表・実践報告・学位研究発表）によらず、第一著者としてのエントリーは1大会につき1発表のみです。
- ・同一タイトルで複数の「一連の発表」を行う場合は、タイトルの末尾に番号を付け、1発表ずつエントリーをしてください。
- ・応募者多数の場合は、審査のうえ動画発表への変更、あるいは不採択になる場合があります。
- ・大会論文集に投稿する原稿の著作権（著作物の伝達者に付与される権利）は本学会に帰属します。本学会にて、論文集の出版等の公開を致します。
- ・発表の枠や時間帯については大会事務局に一任していただきます。

3. 発表方法

オンライン開催につき、以下の①または②のいずれかを選択してください。

①口頭発表：Zoomによる口頭発表（発表20分・質疑応答10分）

②動画発表：音声付きスライド発表（動画 20 分・コメント欄による質疑応答）

※動画は、mp4 形式で、40MB 以内を目処に作成し、「ギガファイル便（<https://gigafile.nu/>）」等を利用して、期日までに提出してください。

⇒ 作成方法の例：YouTube 大阪府立大学高等教育開発様

（<https://www.youtube.com/channel/UCIfV5anpq3i6nRU68y-NopA>）

※動画は、当日の発表枠にて再生する他、大会参加者限定サイトにて約 1 カ月間公開します。その間、コメント欄に記入された質問への回答をお願いいたします。

4. 発表当日までのスケジュール

- ・ エントリー期限……………2022 年 8 月 20 日（土）
- ・ エントリー審査結果発表（発表可否・発表枠）……………2022 年 9 月初旬
- ・ 大会参加費の支払い期限（Peatix から）……………2022 年 9 月 15 日（木）
- ・ 論文集原稿および公表チェックリストの提出期限……………2022 年 9 月 15 日（木）
- ・ 動画発表者のみ：音声付きスライド動画の提出期限……………2022 年 10 月 29 日（土）
- ・ 口頭発表のスライド（必須）および配付資料（推奨）……………発表当日までに各自準備

※ 配付資料を配付する場合、発表当日に時間内に Zoom のチャット機能を使用して参加者に配付してください。

5. 論文集原稿および公表チェックリストの提出

発表可の場合、論文集原稿および公表チェックリストを期日までに提出してください。

①論文集原稿は発表区分に応じた論文原稿テンプレートに基づいて作成し、PDF 形式に変換して提出してください。論文集の完全版下として、そのまま使用します。

⇒ 研究発表用の論文原稿テンプレート：[academic_template.doc](#)

⇒ 実践報告用の論文原稿テンプレート：[ppt_template.pptx](#)

実践報告用の提出 PDF イメージ：[ppt_template.pdf](#)

⇒ 学位研究（修士・博士）発表用の論文原稿テンプレート：[degrees_template.doc](#)

②論文原稿および発表内容について「公表チェックリスト」を用いて自己チェックしてください。

（http://jacc.or.jp/public_documents/guideline/checklist_20210719.pdf）

6. 各種送付先・問い合わせ先

各種提出物およびお問い合わせは、大会事務局（conference-27th@jacc.or.jp）迄お願いします。

※ 提出物の締切り厳守をお願いします。遅延した場合は発表の取り下げ等を行う場合があります。

V:公募シンポジウムの申込

公募シンポジウムは大会参加者から企画を公募し、大会実行委員が選定のうえ、実施を依頼するシンポジウムです。大会 2 日目（11 月 6 日）に 90 分の枠をご用意しますので、その時間内でシンポジウムを実施してください。大会事務局では Zoom ミーティングルームを設定し、Zoom オペレータを 1 名配置します。テーマやシンポジストは自由にご決定いただけます。なお、応募多数の場合にはテーマや内容等をもとに大会実行委員が実施可否の審査を行う場合があります。

1. エントリー方法

エントリー・フォームに必要事項を記載してご提出ください。

⇒エントリー・フォーム（公募シンポジウム）はこちら（<https://forms.gle/dJcms8UFs67LtWgR8>）※ご提出後、すぐに指定のアドレスへ確認メールが送信されます。

万が一、メールがご確認できない場合は、メールアドレスに注意して再度提出し直すか、大会事務局（conference-27th@jacc.or.jp）にお問い合わせください。

2. 申込み条件および注意事項

①お申込みには企画者が以下の条件をすべて満たしていることが必要です。

- ・大会当日において本学会正会員（学生会員を含む）であること。
- ・大会当日において年会費を納入済みであること。
- ・指定の期日までに大会参加費が支払い済みであること。

（大会参加費に公募シンポジウムのエントリー料が含まれています）

②注意事項

- ・公募シンポジウムのエントリーは 1 大会につき 1 回のみです。

（研究発表・実践報告・学位研究と公募シンポジウムに、それぞれ 1 つずつ申し込むことは可能です）

- ・応募多数の場合は、審査のうえ、不採択となる場合があります。
- ・公募シンポジウムの内容は広報および大会記録のため録画いたします。広報委員が公募シンポジウムの概要を文章にまとめて会員に報告する際の資料に用いたり、シンポジストが話している画面を広報誌などに掲載したりする場合があります。参加者の発言や表情は掲載しません。なお、大会後のオンデマンド配信は予定しておりません。

3. 実施方法

企画者は企画内容に応じたシンポジストを募り、テーマやシンポジウムの進行（話題提供時間や質疑応答時間の配分など）を 90 分以内で決めてください。実施形式はお任せしますが、一定程度の質疑応答時間を確保することが望ましいです。

大会運営事務局が当日の Zoom ルームを作成し、各ルームに Zoom オペレータを 1 名配置します。公募シンポジウムの企画者はシンポジストとともにルームに入室し、時間内でシンポジウムを実施してください。

4. 発表当日までのスケジュール

- ・ エントリー期限……………2022 年 8 月 20 日（土）
- ・ エントリー審査結果発表（実施可否・実施枠）……………2022 年 9 月初旬
- ・ 大会参加費の支払い期限（Peatix から）……………2022 年 9 月 15 日（木）
- ・ 大会プログラム掲載原稿の提出期限……………2022 年 9 月 15 日（木）
- ・ 当日使用するスライドや配付資料等……………発表当日までに各自準備

5. 発表資料（スライド・配付資料）について

ご用意いただくスライドや配付資料を配付する場合、公募シンポジウム当日の時間内に Zoom のチャット機能などを使用して参加者に配付してください。

6. 各種送付先・問い合わせ先

各種提出物およびお問い合わせは、大会事務局（conference-27th@jacc.or.jp）迄お願いします。

※ 提出物の締切り厳守をお願いします。遅延した場合は発表の取り下げ等を行う場合があります。

※ 肩書は 2022 年 7 月 1 日現在
(登壇者氏名 敬称略)

◆11/5 (土) 13:00~14:30

[基調講演]

宮城 まり子 (みやぎ・まりこ)

日本キャリア・カウンセリング学会名誉会長。

早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了、立正大学心理学部臨床心理学科教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、法政大学大学院キャリアデザイン学研究科教授を経て現在に至る。専門は、産業臨床心理学、キャリア心理学、キャリアカウンセリング。キャリアとメンタルの統合的支援、キャリアカウンセラーの養成、キャリアカウンセリングのスーパービジョン、企業におけるキャリア開発支援などに長く携わっている。



◆11/5 (土) 15:45~17:15

[シンポジウム I]

キャリア関連 3 学会の連携企画シリーズ 2

「希望、正義、物語 (ナラティブ)、今、私たちができること」

二極化が加速する今、人を支援することについて、昨年に続きキャリア関連 3 学会の会長が自由闊達に語り合います。

シンポジスト	下村 英雄	日本キャリア教育学会 会長
シンポジスト	玄田 有史	日本キャリアデザイン学会 会長
シンポジスト	廣川 進	日本キャリア・カウンセリング学会 会長
モデレーター	野条 美貴	日本キャリア・カウンセリング学会 理事

下村 英雄 (しもむら・ひでお)

日本キャリア教育学会会長。労働政策研究・研修機構職業構造・職業指導部門副統括研究員。

筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士 (心理学)。主著に『社会正義のキャリア支援—個人の支援から個を取り巻く社会に広がる支援へ』(図書文化社)、『成人キャリア発達とキャリアガイダンス:成人キャリア・コンサルティングの理論的・実践的・政策的基盤』(労働政策研究・研修機構 (平成 26 年度労働関係図書優秀賞))、『キャリア・コンストラクション ワークブック:不確かな時代を生き抜くためのキャリア心理学』(金子書房)、『ヘルピング・スキル第 2 版—探求・洞察・行動のためのこころの援助法』(金子書房) など。国家資格キャリアコンサルタント、1 級キャリアコンサルティング技能士。



玄田 有史 (げんだ・ゆうじ)

日本キャリアデザイン学会会長。東京大学社会科学研究所長。経済学博士。

1964 年島根県生まれ。東京大学大学院経済学研究科退学。学習院大学経済学部教授等を経て、2007 年より東京大学社会科学研究所教授。経済学博士。専門は労働経済学。著書に『仕事のなかの曖昧な不安』『ジョブ・クリエイション』『14 歳からの仕事道』『希望のつくり方』等。編著に『人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか』『仕事から見た「2020 年」』等。



廣川 進 (ひろかわ・すすむ)

日本キャリア・カウンセリング学会会長 法政大学キャリアデザイン学部教授

大正大学大学院博士課程(臨床心理学専攻)修了(文学博士)。著書に『失業のキャリアカウンセリング』(金剛出版)、『成人発達臨床心理学 個と関係性からライフサイクルを観る』共著(ナカニシヤ出版)、『統合的心理臨床入門』(共編著)ミネルヴァ書房など。公認心理師、臨床心理士、シニア産業カウンセラー、2 級キャリア・コンサルティング技能士。日本産業ストレス学会理事。



<モデレーター>

野条 美貴 (のじょう・みき)

日本キャリア・カウンセリング学会理事

目黒駅前メンタルクリニック キャリア部門スーパーバイザー。法政大学大学院キャリアデザイン学研究科修了。公認心理師、1 級キャリアコンサルティング技能士。共編著：『ライフ・キャリア 人生 100 年時代の私らしい働き方』(金子書房)



◆11/6 (日) 10:00~11:30

[シンポジウム II]

多職種連携の実際問題、他職種は何を見ている？何を気にする？

シンポジスト	小川 耕平	目黒駅前メンタルクリニック 院長
シンポジスト	平井 みどり	兵庫県赤十字血液センター 所長
シンポジスト	長野 晋	SMBC コンサルティング
シンポジスト	新免 (三浦) 玲	法政大学グローバル教養学部オフィスマネージャー
コーディネーター	杉山 崇	神奈川大学教授・大学院人間科学研究科委員長

- ・医療従事者から見たカウンセリングとの連携:治療との両立支援を見越して、医療従事者の視点を学ぶ
- ・企業内における連携:人事、上長、産業保健スタッフなど企業内での多職種連携の視点を学ぶ
- ・学生相談における多職種連携:キャリア支援担当と教務事務員、教員、お互いにどう見ているのか学ぶ

杉山 崇 (すぎやま・たかし)

神奈川大学人間科学部 教授、神奈川大学心理相談センター 所長

臨床心理士・公認心理師、1 級キャリアコンサルティング技能士

1994 年より発達障害児の心理支援、精神科、学校/教育委員会、EAP 事業所などで心理職を務め、並行して日本学術振興会特別研究員など心理学研究者として活動する。

90 年代は脳の病、認知の病とされていたうつ病 (depression) の社会要因 (対人関係や立



場、キャリアなど)の病としての側面を心理科学的に実証。

成果を支援活動に活かすべく、2000年代からキャリア支援へと活動の幅を広げる。

発達障害をワーキングメモリ実行機能と衝動性の特性と再定義し、心理支援・キャリア支援の文脈では自閉症スペクトラム傾向を「認知スタイル」、ADHD傾向を「行動スタイル」と捉えることを提案し、アセスメントツールと支援メソッドの開発に注力している。

◆11/6(日) 10:00~11:30

[クロストーク](オンデマンド形式)

今改めて問う日本のカウンセリング-多文化的視点から考えてみた-

日本キャリア・カウンセリング学会 国際交流委員会

三好 真(みよし・まこと)

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科 講師

全米認定カウンセラー(National Certified Counselor)

米国南イリノイ大学でカウンセラー教育・スーパービジョン学の博士号を取得。在米中、同大学院において、グループワークの概論・実習のインストラクター及びスーパーバイザーとして勤務。帰国後は、スーパービジョン、キャリア教育、臨床心理現場において、グループ・ワークを応用する手法を用いている。



三宅 麻未(みやけ・まみ)

博士(商学)一般社団法人O・ERS研究所 首席研究員/理事、大手前大学 現代社会学部 非常勤講師、国家資格キャリアコンサルタント、米国CCE Inc. 認定GCDF-Japan キャリアカウンセラー

慶応義塾大学卒業後、国内化粧品メーカーのマーケターを務める。米国Hult International Business School, M.B.A. 修了後は外資家電メーカーのブランディングマネージャーや地方創生プロジェクトなど約10年にわたり「社会への価値提供」をテーマに多彩な経験を積む。様々な経験の中で、人がイキイキと働ける組織の在り方に関心を持ち始め、30代半ばで会社勤めから心機一転、キャリア開発を専門に研究者の道へ進む。博士(商学)取得後は大学にて経営学の教鞭を執るかたわら、キャリアコンサルタントの国家資格を活用し幅広い世代の相談に応じている。



新免(三浦) 玲(しんめん(みうら)・れい)

国家資格キャリアコンサルタント・公認心理師、教育学(修士)、法政大学グローバル教養学部オフィスマネージャー、熊本大学教授システム学研究センター&青山学院Hicon研究センター研究員、Earth Career Lab.代表、eLPラーニングデザイナー&マネージャー、当学会ブランディング委員兼務

アメリカの州立大学卒業後より学生や社会人の雇用支援業務に従事。学校や企業向け教育企画、就転職希望者と企業人事に対する雇用コンサルティング経験を経て、高校生などの若年層の(再)就職支援事業の講師・カウンセラー。大学キャリアセンターでは、留学生含む学生向け就職キャリア支援行事の企画実施、バイリンガルカウンセリングの実施。現在は、複数の大学や附属機関、企業等において外部講師やコンサルタントを務める傍らキャリア教育プログラム開発研究に取り組んでいる。



浅野 衣子（あさの・きぬこ）

株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役、キャリア開発カウンセラー(JICD・キャリア開発研究センター認定)、キャリアコンサルタント、認定スーパーバイザー(日本キャリア・カウンセリング学会認定)、ナラティブ実践協働研究センター スターティングメンバー、地域若者サポートステーション事業専門委員会メンバー

同志社女子大学卒業後、阪急百貨店にて販売・仕入れ担当を経て、従業員の能力開発、顧客満足推進に従事。2001 年独立。キャリア開発支援の実務家として、企業の従業員を対象にキャリア開発ワークショップ CDW やキャリア・カウンセリングを実施。学生から中高年齢者のキャリア・カウンセリングに従事。キャリア支援(キャリア・カウンセリング)をする人たちの支援として、スーパービジョンを実施、地方からでもスーパービジョンが受けられるように 2017 年からオンラインでのスーパービジョンを実施している。



国重 浩一（くにしげ・こういち）

NPACC NZ Limited ディレクター、ナラティブ実践協働研究センター所属、ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランド所属

ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。1964 年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013 年からニュージーランドに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地 NPO 法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019 年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。2019 年から日本産業カウンセリング学会の理事、2021 年から日本キャリア・カウンセリング学会の理事となり、国際交流委員会に所属。



◆11/6（日） 15:45～17:15

〔シンポジウムⅢ〕

スーパービジョン再考—本学会における SV 養成訓練の取組と展望

シンポジスト	星野 宏	キャリアサポートオフィス process 代表
シンポジスト	棟居 秀信	一般社団法人 カウンセリング・レビュー・ラボ 代表理事
シンポジスト	濱田 多美代	たみこころの相談室 代表
コーディネーター	三川 俊樹	追手門学院大学 心理学部 教授

星野 宏（ほしの・ひろし）

キャリアサポートオフィス process 代表

1981 年三重県出身。1 級キャリアコンサルティング技能士、公認心理師。

メーカーでの生産管理・物流管理を経て人事に転職。2012 年に独立後、キャリアコンサルタントとして教育機関を中心に活動。現在は、高等学校での専属キャリアコンサルタント、大学ではキャリア系科目非常勤講師や、地域連携コーディネーターとして、法人や自治体と協働した地域課題を解決するインターンシップの企画運営等に携わっている。日本キャリア・カウンセリング学会 SV 養成講座第 8 期を修了。現在は、認定スーパーバイザーに向けてメンタリング制度で研鑽を積んでいる。



棟居 秀信（むねすえ・ひでのぶ）

一般社団法人カウンセリング・レビュー・ラボ 代表理事

福岡市就労支援等事業 ※契約スーパーバイザー。パナソニック EW 創研(株)上席講師。

大学卒業後、松下電工(株)（現パナソニック（株））に入社。平成 22 年 11 月 57 歳で同社を早期退職。平成 23 年 1 月より福岡市就労支援事業（生活保護受給者対象のキャリア・カウンセリング）に就労カウンセラーとして従事、平成 31 年 3 月定年退職。この間、日本キャリア・カウンセリング学会主催、スーパーバイザー養成講座（第 4 期）を受講ののち、令和 3 年 6 月学会認定スーパーバイザー取得。同年 10 月から福岡市就労支援事業スーパーバイザー。学習経歴 産業カウンセラー、1 級キャリアコンサルティング技能士、同学会メンター訓練候補生研修受講中。



濱田 多美代（はまだ・たみよ）

たみこころの相談室 代表

「たみこころの相談室」主宰のかたわら、自治体健康相談室及び医療保健センターのカウンセラーとして勤務。学会スーパーバイザー養成講座メンター及び協会スーパーバイザーとして担当。特に現場で働く人の支援のカウンセラー・キャリアコンサルタントのカウンセリング及びスーパービジョン多数担当。

カウンセラー・講師歴 35 年。スーパーバイザー歴 15 年。

（一社）日本産業カウンセラー養成講座指導歴 30 年、シニア育成講座講師歴 10 数年。

（一社）日本キャリア・カウンセリング学会、認定スーパーバイザー及びスーパービジョンメンター
旧労働省認定中級産業カウンセラー（現シニア産業カウンセラー）
産業カウンセラー・スーパーバイザー

（一社）日本産業カウンセラー協会 元副会長。同協会関西支部、元支部長
実践『職場で使えるカウンセリング』誠信書房 第 6 章 II 執筆



三川 俊樹（みかわ・としき）

追手門学院大学心理学部教授

1986 年 3 月大阪大学人間科学研究科博士前期課程修了（学術修士）。1987 年 4 月追手門学院大学文学部助手。講師、助教授を経て、2004 年 4 月人間学部教授、2006 年 4 月心理学部教授、現在に至る。専攻はカウンセリング心理学。2009 年から日本産業カウンセリング学会のスーパーバイザー養成に取り組み、スーパーバイザーおよびスーパーバイザーの指導者（スーパービジョンメンター）の訓練に携わってきた。現在は日本キャリア・カウンセリング学会 S V 委員長としてその役割を担っている。論文に「スーパービジョンとメンタリングの構造に関する一考察 (1)・(2)」(追手門学院大学心理学部紀要, 第 15・16 巻) などがある。2020 年度には、厚生労働省の委託事業「キャリアコンサルタントの資質の向上に資する環境整備に関する調査研究」において、キャリアコンサルティングにおけるスーパービジョンについて提言を行った。



◆11/6（日）15:45～17:15

[シンポジウムⅣ]

人的資本経営に活かすキャリア・カウンセリング

ー健康経営、ダイバーシティ、従業員エンゲージメントの視点から

シンポジスト	松本 桂樹	株式会社ジャパン E A P システムズ 取締役
シンポジスト	安達 智子	大阪教育大学教授
シンポジスト	山本 寛	青山学院大学教授
指定討論者	石山 恒貴	法政大学教授
司会	古田 克利	立命館大学准教授

松本 桂樹（まつもと・けいき）

株式会社ジャパン E A P システムズ 取締役

東京学芸大学大学院修了。都内の精神科クリニックにて常勤の心理職として勤務した後、日本初の E A P 専門会社であるジャパン E A P システムズの立ち上げに関わる。日本における E A P のパイオニアであり、現在も主に勤労者の相談を数多く受けている。

臨床心理士・1 級キャリアコンサルティング技能士・健康経営エキスパートアドバイザーの資格を有し、神奈川大学人間科学部特任教授。主な著書に「部下が病気にならないできる上司の技術」（W A V E 出版）、「上司と部下のメンタルヘルス・マネジメント対策」（税務研究会）等がある。



安達 智子（あだち・ともこ）

大阪教育大学教授

早稲田大学教育学研究科博士後期課程修了（博士（教育学））

心理学をベースとして、キャリア選択のための支援ツールの開発、自己効力に着目した支援と介入、ジェンダーにとらわれない生き方/働き方の見つけ方、ステレオタイプの形成とその作用などを主たる研究領域としている。最近では、「空気をヨム」ことの功罪についても関心をもち研究を行っている。

主な著書：『自分と社会からキャリアを考える』（単著）、『キャリア・コンストラクションワークブック』（共編著）

山本 寛（やまもと・ひろし）

青山学院大学経営学部教授

人的資源管理論・キャリアデザイン論担当。博士（経営学）。メルボルン大学客員研究員歴任。働く人のキャリアとそれに関わる組織のマネジメントが専門。

著書（単著）として、『連鎖退職』、『なぜ、御社は若手が辞めるのか』、『「中だるみ社員」の罠』（以上日経BP社）、『人材定着のマネジメント』（中央経済社）、『自分のキャリアを磨く方法』、『転職とキャリアの研究〔改訂版〕』、『働く人のためのエンプロイアビリティ』、『昇進の研究〔増補改訂版〕』（以上創成社）がある。著書（編著）として『働く人のキャリアの停滞』（創成社）がある。研究室ホームページ

<http://yamamoto-lab.jp/>

石山 恒貴（いしやま・のぶたか）

法政大学大学院政策創造研究科教授

博士（政策学）。NEC、GE、米系ライフサイエンス会社を経て、現職。越境的学习、キャリア形成、人的資源管理、タレントマネジメント等が研究領域。日本労務学会副会長、人材育成学会常任理事、産業・組織心理学会理事、人事実践科学会議共同代表、フリーランス協会アドバイザリーボード、専門社会調査士等。

主な著書：『越境学習入門』（共著）、『日本企業のタレントマネジメント』、『地域とゆるくつながろう！』（編著）、『越境的学习のメカニズム』

主な論文：Role of knowledge brokers in communities of practice in Japan, *Journal of Knowledge Management*, Vol.20, No.6, 2016.

主な受賞：経営行動科学学会優秀研究賞（JAAS アワード）（2020）、人材育成学会論文賞（2018）等



古田 克利（ふるた・かつとし）

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科准教授。

大学卒業後、富士通株式会社に入社。その後、株式会社松下情報システムテクノロジー（現 パナソニックシステムデザイン株式会社）にて、システムエンジニア、経営企画課長、人事課長。2011 年より関西外国語大学特任講師、2016 年 同専任講師、2018 年 同准教授。2020 年より現職。博士（技術・革新的経営）。日本キャリア・カウンセリング学会副会長、経営行動科学学会理事、同志社大学 STEM 人材研究センター研究員等を兼任。主な著書：『キャリアデザイン入門』『IT 技術者の能力限界の研究』他。



VII:研修会について

(講師氏名 敬称略)

11/5 (土) 10:00~11:30

W1	関係モデルによる統合的なカウンセリング [リアルタイム形式]
杉原 保史(すぎはら・やすし) 京都大学学生総合支援機構学生相談部門 部門長(教授) 1961 年神戸市生まれ。教育学博士。公認心理師。臨床心理士。日本心理療法統合学会副理事長。京都大学の学部・大学院で臨床心理学を学ぶ。大谷大学文学部専任講師、京都大学保健管理センター講師等を経て、現職。30 代の終わり頃にポール・ワクテルの心理療法統合の考え方に出会い、ワクテルの主要著作4冊を翻訳。その後、やはり心理療法統合の流れに属するジェローム・フランクの古典的名著『説得と治療』を翻訳。関係モデルによる統合的な心理カウンセリングを学び、日々、実践している。 	
W2	セルフ・キャリアドックにおけるカウンセリング [リアルタイム形式]
高橋 浩(たかはし・ひろし) ユースキャリア研究所 代表 博士(心理学)。キャリアコンサルタント。公認心理師。 法政大学キャリアデザイン学部／明治学院大学心理学部／目白大学大学院心理学研究科 非常勤講師。 日本キャリア開発協会 理事。本学会理事 研究委員長。1965 年青森県生まれ。弘前大学教育学部卒業後、NEC グループの半導体設計会社に勤務。設計エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事。2011 年退職。並行して、自身のキャリアに疑問を持ち、1996年からカウンセリングを学び始め、2001 年CDA、2012 年博士号を取得、同年、研究所を開設。現在、個人が仕事で幸せになるための実践と研究を行っている。著書『セルフ・キャリアドック入門』、『社会人のための産業・組織心理学』、他多数。 	
W3	弁護士から見た支援の可能性-キャリアとメンタルヘルスの法律講座 [リアルタイム形式]
牛見 和博(うしみ・かずひろ) 弁護士法人牛見総合法律事務所 1981 年山口県生まれ(40 歳)。2013 年に故郷である山口市で開業。これまでに法人・個人あわせて 5000 件以上の相談が寄せられ、弁護士 5 名、臨床心理士 1 名、スタッフ 8 名、県下有数の規模に成長。顧問先は 100 社を超える。2021 年には全国の弁護士とともに一般社団法人弁護士EAP協会を設立し、理事長に就任。「日本中の人が弁護士にアクセスできて相談できるようにする」というビジョンを掲げ、EAP(従業員支援プログラム)を全国に普及すべく活動している。 	
山田 英樹(やまだ・ひでき) 弁護士、国家資格キャリアコンサルタント(登録番号:20011604) 一般社団法人日本キャリア法務協会 理事長 早稲田大学人間科学部卒業(生体機能学研究室・今泉ゼミ)、神戸大学大学院経済学研究科博士課程前期課程社会人コース中退、CC 養成講座(LEC)修了。民間企業勤務等を経て、司法試験予備試験、司法試験合格。最高裁判所司法修習生修了。勤務弁護士を経て、「上町総合法律事務所」設立。「目の前の人を支援する」ため、法律的な支援とキャリア支援の架橋に関する活動を行う。神戸大学法科大学院リーガルフェロー、日本プロ野球選手会公認代理人。法と教育学会、民事信託士協会、中小企業家同友会会員。 	

W4	システム論で捉える個と組織: 組織開発の視点から [リアルタイム形式]
	土屋 耕治 (つちや・こうじ) 南山大学人文学部心理人間学科准教授 南山大学人間関係研究センター員を兼任。1982 年、神奈川県横浜市生まれ。2011 年 3 月名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得退学。南山大学講師を経て、2021 年 4 月より現職。専門領域は、社会心理学、組織開発、体験学習。米国 NTL Institute OD Certificate Program 修了。社会心理学の実証的研究に加え、T グループのトレーナー、組織開発のコンサルティングも行うほか、OD Network Japan の基礎講座の講師も担当している。組織開発では、事例の心理学的理解、倫理、思想史、熟達化を専門としている。 
W5	もう一度カウンセリング入門 [オンデマンド形式] 国重 浩一 (くにしげ・こういち) NPACC NZ Limited ディレクター ナラティブ実践協働研究センター所属 ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランド所属 ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。1964 年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー協会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013 年からニュージーランドに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地 NPO 法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019 年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。2019 年から日本産業カウンセリング学会の理事、2021 年から日本キャリア・カウンセリング学会の理事となり、国際交流委員会に所属。 
W6	職場のメンタルヘルス [オンデマンド形式] 大塚 泰正 (おおつか・やすまさ) 筑波大学人間系心理学域准教授 博士(文学) (早稲田大学)。専門は臨床心理学、産業保健心理学。 著書に『健康・医療心理学入門』(有斐閣、2020)、『よりよい仕事のための心理学』(北大路書房、2019)、『Q & A で学ぶワーク・エンゲイジメント』(金剛出版、2018)、『公認心理師のための説明実践の心理学』(ナカニシヤ出版、2018)、『産業保健心理学』(ナカニシヤ出版、2017)など。 

研修会ご参加にあたってのお願い

- 当日は 6 つの研修会が同時刻に開催されます。それぞれの研修会用に Zoom ルームが用意されますので、いずれかひとつのルームにご入室し、ご受講ください。事前の申込や連絡は必要ありません。
- 研修会には静かで通信状況の安定した環境からご参加ください。
- 研修会によっては Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いたグループワークを行う場合がございます。質疑応答などでもマイクをお使いいただく場合もございますので、可能な範囲でご準備とお心づもりをお願いいたします。
- オンライン形式の研修会の内容は録画され、大会参加者は大会終了後、オンデマンド形式で視聴できます。視聴期間は約 1 か月を予定しています。

Ⅷ:その他プログラムについて

◆11/5 (土) 10:00～10:20 「オープニングセッション」

実行委員会メンバーが、大会全体のガイダンスをさせていただきます。学会の大会とは? どのようなプログラムなの? それぞれのプログラムにはどのように参加するの? 大会後にも公開されるオンデマンドはあるの? など、「大会の活用法・歩き方」をご説明させていただきます。



◆11/5 (土) 12:45～13:00 「開会式」

大会の開会式です。当学会長および当大会実行委員長からご挨拶をさせていただきます。



◆11/5 (土) 14:45～15:35 「表彰式」「昨年度学術賞受賞講演」

今年度の各賞の表彰式と、昨年度学術賞受賞講演を実施します。

対象者や具体的な内容は、第27回大会特設サイトや大会論文集でお知らせいたします。

◆11/5 (土) 17:25～19:00 「オンライン交流会」

Zoomを使用したオンラインの交流会を企画しています。多様なテーマのブレイクアウトルームをご用意する予定です。参加者同士の交流を狙いとしています。事前の申込や連絡は必要ありません。リラックスして、気軽にご参加ください。



◆11/5 (土) 17:25～19:00 「オンライン研究相談サロン」

研究に関する無料相談の場です。研究に興味はあるがやり方がわからない、既に研究を始めているが困っている、大会発表や投稿の準備をしたいなど、研究に関して気楽に相談できる場です（お一人 20～30 分）。非会員の方でも参加可能です。当学会の研究委員が、優しく、丁寧に対応いたします！



◆11/6 (日) 17:30～18:00 「クロージングセッション」

二日間の大会を参加者同士共にふりかえり、しめくくります。大会での学びや交流の余韻を味わい、次年度につなげる時間にしたいと考えています。



Ⅸ:詳細情報・問い合わせ先

第27回大会特設サイト（大会情報を随時更新）

<http://jacc-conf.info/27th/>

第27回大会事務局メールアドレス

conference-27th@jacc.or.jp

2022.7.14 作成版